

## 募集演題一覧

I. 精神科医療と精神保健福祉士	
内 容	診療報酬の大幅マイナス改定による影響や精神保健医療福祉の改革ビジョンで示された約7万人の社会的入院者の退院促進、救急医療体制整備、心神喪失者等医療観察法施行1年、自立支援医療による混乱等、精神科医療の課題が山積する中、精神保健福祉士の役割や機能、実践課題について議論を深めます。
キーワード	<p>1. 外来支援（病院・診療所等） 1) 相談窓口 2) 訪問支援活動、ACT 3) デイケア、ナイトケア 4) 地域との連携支援 5) 自立支援医療</p> <p>2. 援助技術及び方法論、システム 1) 院内チームアプローチ 2) 電子カルテ、IT化と個人情報保護 3) 個別療法（集団・SST等） 4) 家族支援プログラム 5) 就労支援プログラム 6) 復職支援プログラム 7) ケアマネジメント</p> <p>3. 対象領域群</p> <p>1) 長期在院者への退院促進の取り組み 2) 急性期病棟 3) 認知症高齢者病棟 4) 療養型病棟の取り組み 5) 児童・思春期 6) アルコール・薬物依存症の治療 7) 合併症治療 8) 医療観察法関連</p> <p>4. 権利擁護 1) 退院請求や処遇改善、精神医療審査会 2) 療養環境改善と精神保健福祉士 3) インフォームドコンセント</p> <p>5. 診療報酬と精神保健福祉士の配置及び業務</p>
II. 地域生活支援と精神保健福祉士	
内 容	障害者自立支援法施行等の生活支援に関する福祉サービス提供体制が変化する中、精神障害者が望み願う生活を豊かに支援することについての現状や課題、試み等を発表しあい、議論を深めます。
キーワード	<p>1. 援助技術、方法論 1) 居住支援 2) 就労支援 3) 家族支援 4) 資源開拓 5) ケアマネジメント 6) 日常生活支援 7) 社会適応訓練事業</p> <p>2. 普及啓発活動 1) コミュニティワーク 2) 精神保健福祉ボランティア 3) ソーシャルアクション</p> <p>3. 地域生活支援と新事業体系における支援プログラム</p>
III. 法制度施策と精神保健福祉士	
内 容	三位一体改革及び社会保障制度の全体的な見直し等の流れにおいて、社会福祉に関する法制度の改革も激変続きですが、障害者の生活を大きく左右し、支援にも影響が大きい法制度に関する課題や問題や実態に関する報告、提言等により議論を深めます。
キーワード	<p>1. 介護保険法 2. 障害者自立支援法 1) 市町村サービス体制における工夫や運営 2) 市町村相談窓口 3) 障害者福祉計画 4) 障害程度区分 5) 新事業体系 6) 各種実態調査等</p> <p>3. 心神喪失者等医療観察法 4. 精神保健福祉法改正</p> <p>1) 精神保健福祉手帳 5. 権利擁護関連 1) 成年後見制度 2) 地域福祉権利擁護事業 3) 諸制度に関する不服請求等の支援</p> <p>6. 障害者雇用促進法改正 7. 年金制度 8. 生活保護制度</p>
IV. チーム・ネットワーク等	
内 容	多様で多面的な生活支援は、多くがチームやネットワークをもたないとうまくいきません。チームやネットワークにおける精神保健福祉士の果たす役割や機能を検証し、また、チームやネットワークを生かした実践や研究を通して議論を深めます。
キーワード	<p>1. 他分野他領域との連携支援 2. 他職種との連携協働 3. ケア会議や記録、情報交換 4. 地域内関係者会議と運営</p> <p>5. 3障害及び他障害とのサービス相互利用 6. 自立支援協議会 7. 心神喪失者等医療観察制度運営連絡協議会</p>
V. 教育・研修等	
内 容	国家試験も8回を終え、来年12月は精神保健福祉士法成立10年を迎えます。資格取得のための教育に偏重していないか、実習教育に関する養成機関と現場との連携の課題や取り組み、現任者の研修や質の向上における現状と課題、時代の要請、精神障害者や家族の要請に応えられる精神保健福祉士の教育や研修等について議論を深めます。
キーワード	<p>1. 養成機関側 1) 養成指導の能力、学生評価等 2) 精神保健福祉士の養成のあり方（カリキュラムやシラバス等） 3) 実習のあり方（指導者のあり方、巡回指導実習報告等） 4) 卒後教育</p> <p>2. 実践現場側 1) 実習のあり方（指導者のあり方、評価方法、個人</p> <p>情報保護、実習受け入れ環境等） 2) 各現場におけるOJT</p> <p>3. 方法論 1) スーパービジョン 2) 事例検討 3) 現任者研修（本協会、都道府県協会、団体等） 4) グループ演習</p>
VI. 自由演題	